

「未来のまちづくり 36のアクション」の達成状況及び評価

○ 行財政・市役所改革

	22年度	23年度	24年度	25年度	
No.1	事業仕分けの実施、政策事業の見直し				
計画 (事業仕分け)	実施・改善				
実績 (事業仕分け)	実施・改善				
	事務事業評価の外部評価として、市民評価人方式による事業仕分けを22年度、24年度において実施するとともに、対応方針を公表。なお、23年度は内部評価を実施し、また、25年度は事業仕分けの見直しを前提に課題を整理。			計画達成状況評価	○
計画 (政策事業の見直し)	見直し実施	政策事業推進			
実績 (政策事業の見直し)	見直し実施	政策事業推進			
	「前期基本計画政策事業一覧」に基づき、毎年度、進捗状況調査を実施し、前期基本計画政策事業を推進。			計画達成状況評価	○
No.2	組織のスリム化、審議会・委員会の整理改善				
計画 (組織改正)	現行組織の検証	組織改正検討・準備	新組織設置・運用		
実績 (組織改正)	現行組織の検証	組織改正検討・準備	新組織設置・運用		
	22年度に全職員を対象とした「組織機構の見直しに係るアンケート調査」を実施。また、現行組織の検証及び新たな組織の構築に向けた検討を実施。これらの結果を踏まえ、24年度から、市政を効果的、効率的に推進するための新たな組織(9部53課等へ編成)を設置し、運用。			計画達成状況評価	○
計画 (審議会・委員会の整理改善)	方針作成・見直し・結果公表	整理・改善			
実績 (審議会・委員会の整理改善)	方針作成・見直し・結果公表	整理・改善			
	22年度に「審議会等の整理・委員の選任等に関する指針」を改定、「審議会等に関する指針」とし、審議会・委員会等の見直しを実施。見直し結果を踏まえ、順次、整理・改善を進めるとともに、審議会等に関する情報の管理を実施。			計画達成状況評価	○
No.3	公民館等の原則年中無休化				
計画 (公民館)	原則年中無休化検討	原則年中無休化実施			
実績 (公民館)	原則年中無休化検討	原則年中無休化実施			
	23年度から、市内全公民館(四街道公民館、千代田公民館、旭公民館)の原則年中無休化(保守点検等のため、月1回及び年末年始は休館)を実施。			計画達成状況評価	○
計画 (図書館)	祝日開館・開館時間延長検討	祝日開館・開館時間延長	原則年中無休化実施		
実績 (図書館)	祝日開館・開館時間延長検討	祝日開館・開館時間延長	原則年中無休化実施		
	23年度から、祝日開館を実施するとともに、開館時間を段階的に拡大。また、25年度から、原則年中無休化(保守点検や蔵書点検等のため、月2回及び年末年始は休館)を実施。			計画達成状況評価	○
実績 (その他コミュニティ施設の検討)	市内のコミュニティ施設10施設の利用可能時間に関する調査を実施し、総合福祉センターと南部総合福祉センターわろうべの里を26年度から原則年中無休化(保守点検等のため、月1回及び年末年始は休館)する方針を決定。わろうべの里は25年1月から第1・3・5月曜日の開館を試行するとともに、わろうべの里老人福祉センターの開館時間(火曜日から日曜日まで)を事前申請により4時間延長。また、総合福祉センターは、25年4月から第1・3・5月曜日の開館を試行。 ☞26年度から、両施設において、原則年中無休化(保守点検等のため、月1回及び年末年始は休館)を実施しています。			計画達成状況評価	○

No.4	各コミュニティ施設での証明書交付等市民サービスの実施			
計画	千代田公民館・旭公民館での住民票写し等の交付検討		千代田公民館・旭公民館での住民票写し等の交付実施	
実績	千代田公民館・旭公民館での住民票写し等の交付検討		千代田公民館・旭公民館での住民票写し等の交付実施	
	23年度から、千代田公民館及び旭公民館での住民票の写し等の取次ぎによる交付を実施。また、導入施設の拡大に向けた検討を実施。			計画達成状況評価 ○

※ 取次ぎ交付になりますので、翌日以降の交付になる場合もあります。また、交付できないものもありますのでご注意ください。

No.5	未利用・暫定利用の市有地の市民提案による有効活用			
計画	活用要件の整理	基本的方針作成 市民提案募集・活用方策決定	活用実施	
実績	活用要件の整理	基本的方針(案)の検討		基本的方針作成 活用方策の決定
	市有地の利活用に関する基本方針を作成するとともに、同方針に基づく活用方策を決定し、市民提案による有効活用に向けた体制を整備。			計画達成状況評価 △

○ 子育て・教育環境の整備充実

No.6	中学校3年生までの子ども医療費(通院費・入院費)の無料化			
計画 (医療費無料化)	子ども医療費無料化検討	中学校3年生までの入院費無料化実施	通院費無料化の段階的实施	
実績 (医療費無料化)	子ども医療費無料化検討	中学校3年生までの入院費無料化実施	中学校3年生までの子ども医療費(通院・入院費)無料化実施	中学校3年生までの子ども医療費(通院・入院費・自己負担金)無料化実施
	子ども医療費助成制度について、段階的に拡充。25年8月から、自己負担金を無料化し、中学校3年生までの保険診療分医療費の完全無料化を実施。			計画達成状況評価 ◎
計画 (ワクチン接種費用無料化)	ワクチン接種費用無料化検討	3種ワクチン接種費用無料化		
実績 (ワクチン接種費用無料化)	ワクチン接種費用無料化検討	3種ワクチン接種費用無料化		
	23年度から、細菌性髄膜炎(ヒブ)、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防ワクチンの接種費用を全額助成により実施。			計画達成状況評価 ○

※ 25年4月から、上記3種ワクチンは予防接種法に基づく定期接種になっています。
 ※ 市では現在、ヒトパピローマウイルス(子宮頸がん予防)ワクチン予防接種を積極的に勧奨していません。

No.7	南側保育所の23年4月開所、さらなる民間認可保育園・認定こども園の設置			
計画	開設準備支援	開設・運営		
実績	開設準備支援	開設・運営		
	23年4月に南側保育所及び認定こども園(ゆうゆう保育園及びたけのこ保育園)、25年4月に認可保育所(ココファン・ナーサリーもねの里)が開所。また、開設した保育所(園)に対し、保育委託、運営補助を実施。			計画達成状況評価 ○

※ 保育所、認定こども園ともに、民間事業者が設置・運営します。

No.8	千代田保育所・中央保育所の公立維持			
計画	直営による運営の維持			
実績	直営による運営の維持			
	保育の実務を常に実践しながら、経験と実績に基づいた保育行政を推進するため、直営による運営を維持。			計画達成状況評価 ○

No.9	千代田保育所での一時保育導入			
計画	千代田保育所一時保育室整備		千代田保育所一時保育実施	
実績	千代田保育所一時保育室整備		千代田保育所一時保育実施	
	23年5月から、保護者の就労や病気、リフレッシュなどに対応するため、一時保育を実施。			計画達成状況評価 ○
No.10	社会福祉協議会による学童保育の運営			
計画	条例改正 社会福祉協議会と協議		運営委託実施	
実績	条例改正 社会福祉協議会と協議		運営委託実施	
	23年度から、こどもルームを直営事業として実施し、運営を市社会福祉協議会に委託。			計画達成状況評価 ○
No.11	「里山プレーパーク」の整備拡充			
計画	関係者等協議 新規プレーパーク開設準備	新規プレーパーク開設	プレーパーク運営 更なる増設の検討	
実績	関係者等協議 新規プレーパーク開設準備	新規プレーパーク開設	プレーパーク運営 更なる増設の検討	
	23年4月に栗山小鳥の森(栗山地区)を開設。既存のどんぐりの森(和良比地区)と併せ、2か所のプレーパークの運営を「四街道プレーパークどんぐりの森」に委託し事業を実施。更なる増設を図るため、引き続き関係者等と協議・検討。			計画達成状況評価 ○
No.12	小学校1・2年に対する必要に応じた市独自の教員加配(30人学級の導入)			
計画	事例調査・研究 関係機関協議、試行準備	試行実施(1校)	実施校数拡大	
実績	事例調査・研究 関係機関協議、試行準備	試行実施(1校)	実施校数拡大	
	市独自に少人数学級推進教員を雇用し、少人数学級、少人数指導、チームティーチングを実施。対象校を順次拡大し、25年度から、対象となるすべての小学校、学年で30人学級等を実施。 ☞26年度から、上記に加え、小学校3年生から中学校3年生で1学級35人を超える学年に対し、少人数学級推進教員を配置しています。			計画達成状況評価 ○
No.13	小学校の校庭芝生化			
計画	四街道小学校校庭 一部芝生化	試行状況把握 更なる整備の検討・準備	実施校数拡大	
実績	四街道小学校校庭 一部芝生化	試行状況把握 実施校数拡大	実施校数拡大	
	四街道小学校、旭小学校、南小学校において、地域住民の協力を得ながら校庭の一部芝生化を実施。また、栗山小学校において校庭整備と併せて27年度に一部芝生化を実施予定。			計画達成状況評価 ○

○ 高齢者や障害者の健康・福祉

No.14	「シルバー人材センター」・「シニアクラブ連合会」の活動拠点の整備、シルバー人材センター独自事業の大幅な拡大支援			
計画 (シルバー人材センター)	新たな活動拠点の整備		独自事業拡大支援	
実績 (シルバー人材センター)	新たな活動拠点の整備		独自事業拡大支援	
	活動拠点を整備するとともに、安定運営を目的に補助金を交付。また、独自事業として市政だよりの全戸配布業務を発注し、25年3月15日号から配布開始。			計画達成状況評価 ○
計画 (シニアクラブ)	活動拠点の拡充		活動支援	
実績 (シニアクラブ)	活動拠点の拡充		活動支援	
	活動拠点施設を整備拡充するとともに、補助金の交付等により、シニアクラブの活動を継続的に支援。			計画達成状況評価 ○
No.15	高齢者が集い楽しめる場所を身近な地域に整備			
計画 (高齢者が集い楽しめる場所)	活用可能用地の調査	要望把握・適地選定	用地確保・整備	供用開始
実績 (高齢者が集い楽しめる場所)	活用可能用地の調査	要望把握・適地選定	用地確保・整備	供用開始
	栗山地区に用地を確保。自治会の協力のもと整地作業を実施し、25年4月から供用開始。			計画達成状況評価 ○
計画 (多目的な広場)	適地選定調査		用地確保・整備	供用開始
実績 (多目的な広場)	適地選定調査		用地確保・整備	供用開始
	鹿放ヶ丘地区に用地を確保。グラウンド整備を実施し、25年4月から登録団体による利用を開始。			計画達成状況評価 ○
No.16	「健康運動指導者」を養成し、各地域での健康運動教室の開催を推進			
計画	健康体操アシスト者育成 会場確保支援等			
実績	健康体操アシスト者育成 会場確保支援等			
	健康体操アシスト者の発掘・育成を目的として、各種健康体操教室を企画し、実施。武道館や学校開放事業等で会場を提供。			計画達成状況評価 ○
No.17	「総合型地域スポーツクラブ」の設立促進・育成			
計画	運営支援 財政的支援		運営支援	
実績	運営支援 財政的支援		運営支援	
	22年4月に総合型スポーツクラブ「四街道SSC」を設立し、その安定運営を目的に補助金を交付(24年度までの3年間)。また、活動拠点である総合公園体育館、多目的運動場を月曜休館日に無償で開放するとともに、クラブの定着を促進するため、啓発活動の支援や助言を実施。			計画達成状況評価 ○

No.18	ワンストップサービスの推進			
計画	効果検証・サービス改善向上			
実績	効果検証・サービス改善向上			
	ワンストップサービスを実施するため、総合窓口を開設(22年5月試行実施、同年6月本格実施)するとともに、スムーズな手続きが行えるようフロアマネージャーを配置。また、サービス充実を図るため、24年4月から総合窓口で、国民健康保険税の納税証明書の交付を開始。			計画達成状況評価

No.19	就労系事業所の業務の拡大			
計画	市事業の発注拡大検討 廃食油リサイクル事業の研究	市事業の発注拡大 廃食油リサイクル事業の研究	市事業の発注拡大 廃食油リサイクル事業導入準備	市事業の発注拡大 廃食油リサイクル事業導入
実績	市事業の発注拡大検討 廃食油リサイクル事業の研究	市事業の発注拡大 廃食油リサイクル事業の研究		市事業の発注拡大 廃食油リサイクル事業導入準備
	障害者就労支援センターに点字名刺の印刷、ラミネートカードの作成、封筒への点字作成を発注するなど、市事業の発注を拡大。また、廃食油リサイクル事業については、事業化に当たっての課題を整理するとともに、対応方を検討。			計画達成状況評価

※ 就労系事業所は、「障害者就労支援センターサンワーク」、「第一福祉作業所」、「第二福祉作業所」です。

No.20	ごみの戸別収集			
計画	戸別収集の検討・準備	戸別収集実施		
実績	戸別収集の検討・準備	戸別収集実施		
	23年度から、高齢者や障害のある人など、ごみ出しが困難な世帯への戸別収集を実施。			計画達成状況評価

※ 戸別収集は、高齢者や障害のある人のみの世帯のうち、ごみ出しが困難で他に協力が得られない人を対象に実施します。

○ 環境・自然保護

No.21	緑のまちづくりの推進			
計画	「行動計画」中長期施策の見直し		緑のまちづくりの推進 「行動計画」中長期施策の改定	
実績	「行動計画」中長期施策の見直し		緑のまちづくりの推進 「行動計画」中長期施策の改定作業実施	
	栗山地区に事業用地を確保するとともに、「栗山みどりの保全事業実行委員会」を設置して市民との協働体制を整備。市民団体による伐竹・除草作業や動植物調査等、現場での「協働」を開始。「みどりの基本計画行動計画」の中長期施策は新総合計画と整合性を図りながら、改定作業を実施。			計画達成状況評価

No.22	太陽光発電パネルの公共施設への設置と家庭等への設置促進			
計画	太陽光発電設備設置 助成制度研究・整備	住宅等への助成実施		
実績	太陽光発電設備設置 助成制度研究・整備	住宅等への助成実施		
	22年度に、四街道小学校、中央小学校、山梨小学校及び千代田中学校体育館並びに旭小学校校舎に太陽光発電設備を設置。また、23年度から太陽光発電パネルの設置費について補助金交付要綱を制定し、住宅等への助成を実施するとともに、24年度から助成可能件数を拡大。			計画達成状況評価

No.23	廃食油リサイクルによるバイオ燃料等の製造		
計画	廃食油リサイクル事業の研究	廃食油リサイクル事業導入準備	廃食油リサイクル事業導入
実績	廃食油リサイクル事業の研究		
	事業の導入手法及び精製過程での課題に対する検討を実施。また、27年度に実施予定である家庭用廃食油の回収やリサイクルに向けた検討を開始。		計画達成状況評価 △

No.24	LED電球への切替え、省エネ機器の導入等低炭素社会への貢献		
計画	一部庁舎内照明入替え 小規模風力発電装置設置	庁舎内照明随時入替え	一部学校施設照明入替え 庁舎内照明随時入替え
実績	一部庁舎内照明入替え 小規模風力発電装置設置	庁舎内照明随時入替え	一部学校施設照明入替え 庁舎内照明随時入替え
	小規模風力発電装置を設置するとともに、庁内照明器具をLED及び環境配慮型の照明器具に順次入替えを実施。なお、学校施設については、栗山小学校において校舎改築に合わせ、入替えを実施予定。		計画達成状況評価 ○

○ 日常生活の安全、利便性の向上

No.25	北口広場を南口と一体的に改修整備、市民の送迎車の停車スペース確保		
計画	既存一時乗降場改修、新規一時乗降場設置 広場改修の検討	新規一時乗降場設置 広場改修の検討	広場改修の検討
実績	既存一時乗降場改修、新規一時乗降場設置 広場改修の検討	新規一時乗降場設置 広場改修の検討	広場改修の検討
	一時乗降場を移転新設するとともに、四街道市北口広場運営協議会にて広場改修の検討を実施。		計画達成状況評価 ○

No.26	千葉駅止め快速最終電車の延伸、千葉駅発最終普通電車の増便		
計画	発車時間調整要望 最終電車繰下げ実施	公共交通機関の利便性向上に向けた取組	
実績	発車時間調整要望 最終電車繰下げ実施	公共交通機関の利便性向上に向けた取組	
	市が加入する「千葉県JR線複線化等促進期同盟」を通して、JRに対し、利便性向上に向けた要望を実施。また、22年12月のダイヤ改正において、JR千葉駅発成田行き最終電車の運転時間が0時01分から0時05分に繰り下げられ、千葉駅0時04分着の千葉行き快速電車との接続が可能となり、市民の利便性が向上。なお、終電後の深夜バス運行について、バス事業者に対し、働きかけを行い、22年6月から千葉駅0時25分発四街道駅、千代田団地行き深夜バスが運行開始。		計画達成状況評価 ○

No.27	物井駅東口へのアクセス道路建設		
計画	事業化準備		地質調査
実績	事業化準備		関係機関との協議
	関係機関との協議を実施。事業化に当たった課題(大雨時における建設予定ルート冠水等)を整理するとともに、対応策を検討。		計画達成状況評価 ▲

No.28	JR南側での「ヨッピー」新路線開設		
計画	関係機関協議	公共交通状況調査 新規路線等検討	新規路線試行
実績	関係機関協議	公共交通状況調査 新規路線等開設(民間バス)	新規路線運行(民間バス)
	23年度にヨッピーに代わる民間バスによる新規路線が開通。また、JR南側地域を含む市域全体のバス路線の維持や更なる充実に向けて、事業者との協議や利用促進のための啓発活動を実施。		計画達成状況評価 ○

No.29	防犯灯、生活道路及び排水溝の整備等市民生活に直結する問題の優先的解決			
計画	防犯灯老朽化設備集中改修	防犯灯、生活道路、排水溝等の優先的整備・改修		
実績	防犯灯老朽化設備集中改修	防犯灯、生活道路、排水溝等の優先的整備・改修		
	区・自治会等からの要望に基づき、防犯灯、生活道路、排水溝など、市民生活に密接に関わる施設について、優先的に整備・改修を実施。22年度については、市内全域の防犯灯総点検の結果に基づき、集中的に老朽化した設備の改修を実施。また、25年度については、国の補正予算等を活用し、市内全域の防犯灯をLED照明に更新するとともに、道路舗装修繕工事の実施路線を大幅に増加。			計画達成状況評価

No.30	消費生活センターの充実、警察との連携強化による総合的な治安対策			
計画	安全安心施設改修整備	安全安心施設開設・運営		
実績	安全安心施設改修整備	安全安心施設開設・運営		
	23年5月に消費生活センターと市民安全パトロールの拠点を併設した安全安心ステーションを開所し、市の防犯拠点として活動を実施。24年度から安全安心ステーション(消費生活センターを除く)の開所時間(9時から16時まで)を21時まで延長、25年度に年中無休化を実施するとともに、国庫補助制度を活用して、太陽光パネル及び蓄電システムを設置し、施設の機能を強化。			計画達成状況評価

○ 商業・農業振興

No.31	商工会・各商店街との連携強化、商店街の活性化を支援する仕組み作り			
計画	支援制度調査研究 庁内支援体制検討・準備	(仮称)地域協議会設置支援 庁内支援体制整備	(仮称)地域協議会運営支援 支援制度整備	支援制度運用
実績	支援制度調査研究 庁内支援体制検討・準備	地域連携の対応の検討 庁内支援体制整備	自治会、商店会主催事業の支援 庁内検討委員会の運営	自治会、商店会主催事業の支援
	中心市街地等活性化庁内検討委員会を設置し、商店街における課題の共有化を図るとともに、課題解決に向けた検討を実施。また、自治会と商店会の主催による「よつかいどう一区共栄フリーマーケット」の開催を支援するとともに、商工会が発行するフリーペーパー「4B」の制作を支援。			計画達成状況評価

※ 地域連携に当たっては、効率的な観点から(仮称)地域協議会設置に替え、庁内検討委員会で対応しました。

No.32	「空き店舗活用補助金制度」の創設			
計画	空き店舗状況調査	活用支援制度検討組織設置 補助制度創設	補助実施	
実績	空き店舗状況調査	活用支援制度検討組織設置 補助制度検討	補助制度創設	補助実施
	22年度に空き店舗状況の調査を実施するとともに、23年度に空き店舗活用補助事業検討委員会を設置し、補助制度について検討。24年度に補助金交付要綱を制定し、25年度から店舗改装費や賃借料に対する補助を実施。26年度事業を1件採択。			計画達成状況評価

No.33	観光農園・直売所の整備			
計画	関係団体等意向把握	関係団体等との協議 補助制度検討	補助制度創設・補助実施	
実績	関係団体等意向把握	関係団体等との協議 補助制度検討	補助制度創設・補助実施	補助実施
	直売所については、24年度に補助金交付要綱を制定し、直売所1か所の増築に対して補助金を交付。観光農園については、観光農園協会等の意見や他の農業者等の意向を踏まえ、現行の補助制度を活用。			計画達成状況評価

No.34	休耕地の有効活用とあわせた市民提案による「四街道ブランド」の研究開発			
計画	推進方策の検討 研究会組織設置検討	研究会設置 補助制度検討	補助制度創設・補助実施	
実績	推進方策の検討 研究会組織設置検討	推進方策の検討 研究組織のあり方検討	研究会設置・補助実施	補助実施
	「よつグルメ研究会」の組織化など、ご当地グルメについての具体的な取組を支援。補助制度は24年9月に創設した「みんなで地域づくり事業提案制度(コラボ四街道)」を活用。			計画達成状況評価 ○

○ 企画事項

No.35	文化センターの一部を図書館機能として活用、武道館の早期建替え			
計画 (図書館拡大)	通年型学習室の設置検討 閲覧・配架場所拡大検討	通年型学習室の設置・運営 閲覧・配架場所拡大検討	通年型学習室運営 閲覧・配架場所拡大方針決定	通年型学習室運営 閲覧・配架場所拡大準備
実績 (図書館拡大)	通年型学習室の設置検討 閲覧・配架場所拡大検討	通年型学習室の設置・運営 閲覧・配架場所拡大検討	通年型学習室運営 閲覧・配架場所拡大方針決定	通年型学習室運営 閲覧・配架場所拡大準備
	23年度から、通年型学習室を運営。図書館の閲覧・配架場所については文化センター会館棟の耐震改修時期に合わせ3階部分を改装し、閲覧、配架場所として整備する方針を決定。			計画達成状況評価 ○
計画 (武道館整備)	新規建設の検討	施設内容検討	整備事業着手 ワークショップ開催	整備事業推進(設計等)
実績 (武道館整備)	新規建設の検討	施設内容検討		
	建設候補地の選定等の検討。補助金等財源措置、その他建設に係る諸要件の整理及び施設内容の検討を実施。			計画達成状況評価 ▲

No.36	市民提案の円滑な実施を目的とし、市民税の1%を積み立てる「市民提案事業基金」を創設			
計画	既存制度を踏まえた 制度の研究	制度研究、基金設置・積立て 選定組織設置	基金積立て 提案事業助成実施	
実績	既存制度を踏まえた制度の研究		基金積立て 提案事業助成実施	
	みんなで地域づくり事業基金を創設。事業者、市民団体、市民からの寄付を受け基金に積み立てるとともに、提案事業に対する助成を実施。			計画達成状況評価 ○

達成状況評価一覧

- ◎: 計画を上回る達成 2 No.6-① 29
- : 計画どおり達成 36
- △: 計画はほぼ達成 4 No.5 19 21 23
- ▲: 計画は未達成 2 No.27 35-②